



平成30年10月分 大分税関支署管内貿易概況

平成30年12月13日
門司税関 大分税関支署

県全体の貿易額

輸出額は739.3億円、前年同月比14.9%増、2か月ぶりのプラス

鉄鋼、有機化合物、船舶類、銅及び同合金などが増加

事務用機器、映像機器などが減少

輸入額は1,096.6億円、前年同月比66.8%増、9か月連続のプラス

銅鉱が全増、原油及び粗油、揮発油などが増加

液化天然ガス、石炭などが減少

主要品目

(単位：百万円、%)

輸 出	価 額	前年同月比	構成比	輸 入	価 額	前年同月比	構成比
有機化合物	13,695	137.5	↑	鉄鉱石	19,611	117.7	↑
鉄鋼	18,431	147.3	↑	銅鉱	16,588	全増	↑
銅及び同合金	8,731	128.0	↑	石炭	12,523	76.0	↓
事務用機器	7,816	67.2	↓	原油及び粗油	33,891	573.1	↑
映像機器	9,214	84.3	↓	揮発油	12,553	184.8	↑
船舶類	7,439	182.5	↑	液化天然ガス	4,483	51.3	↓

港（通関官署）別の状況（詳細は、別添「港別外国貿易概況」参照）

大 分）輸出は658.6億円、前年同月比4.0%増。鉄鋼、有機化合物などが増加、船舶類が全減、事務用機器などが減少

輸入は1,090.2億円、前年同月比68.5%増。銅鉱が全増、原油及び粗油などが増加

佐 伯）輸出は42.0億円、前年同月比46.2倍。船舶類が全増、木材が減少

輸入は3.0億円、前年同月比10.4%増。植物性油かす、石こうが増加、一般機械が全減、魚介類が減少

津久見）輸出は38.8億円、前年同月比4.1倍。船舶類などが増加、セメント、石灰石が減少

輸入は3.4億円、前年同月比55.5%減。石炭、石油コークスが減少、アルコール飲料が増加

大分
空港）輸出入実績なし

港 名（通関官署）

(単位：百万円、%)

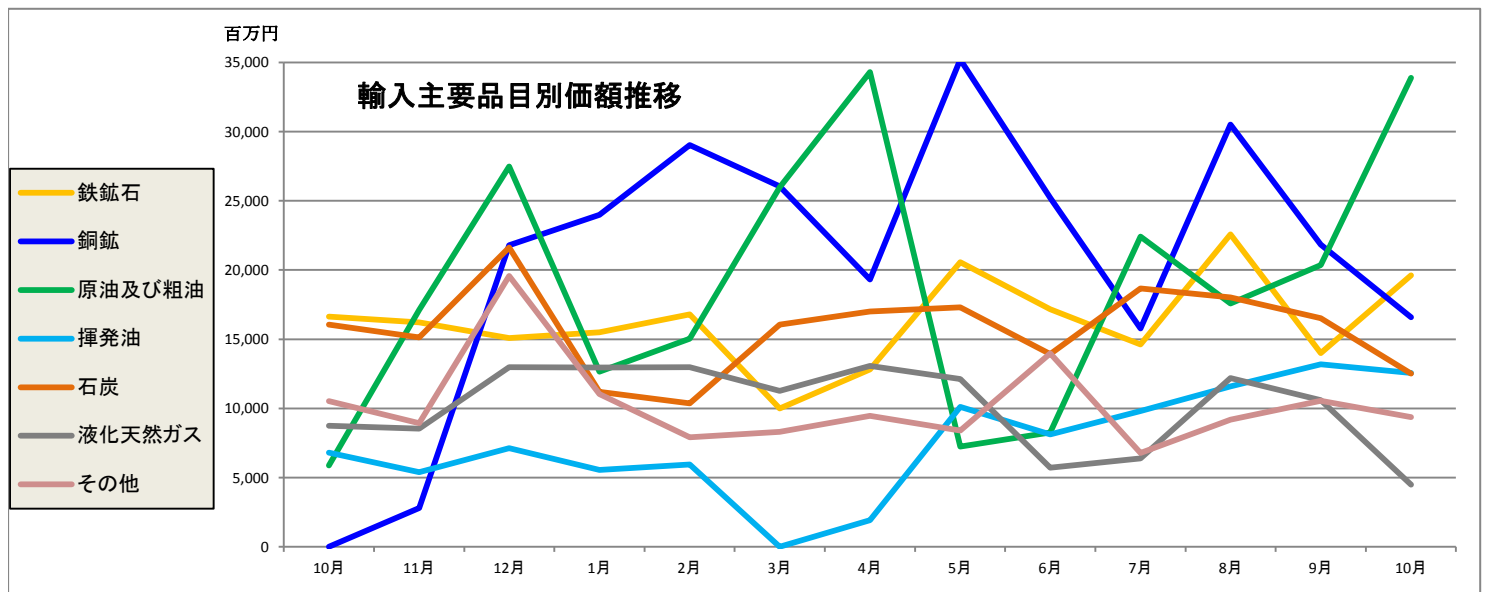
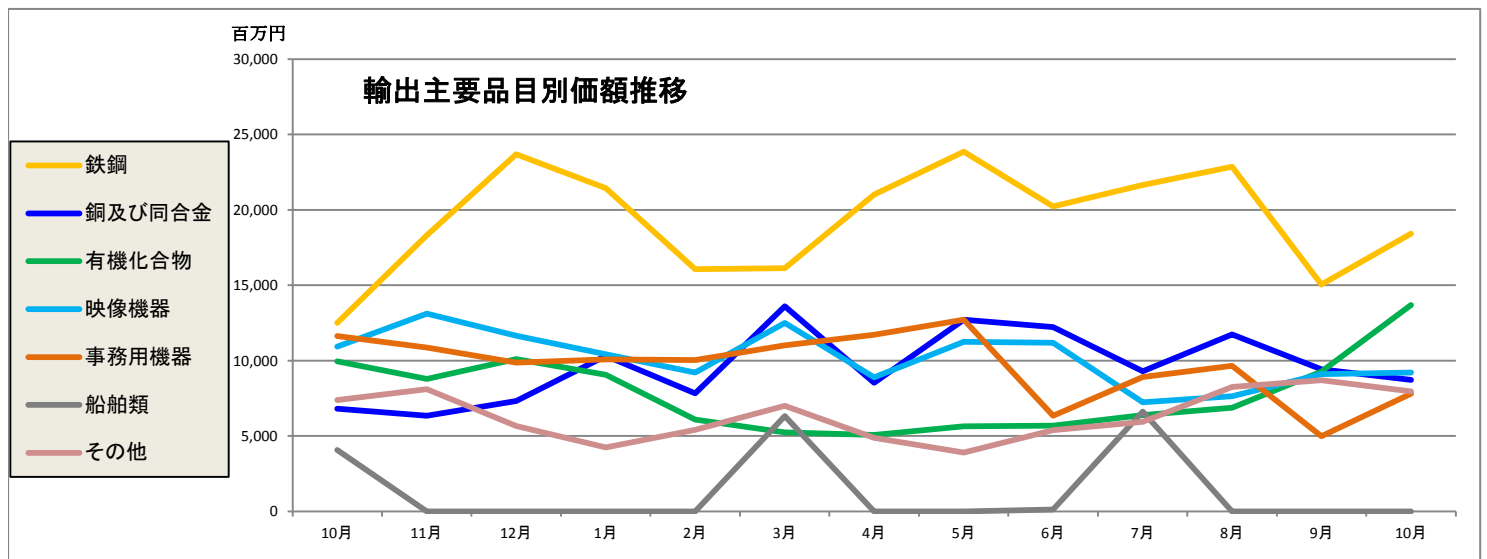
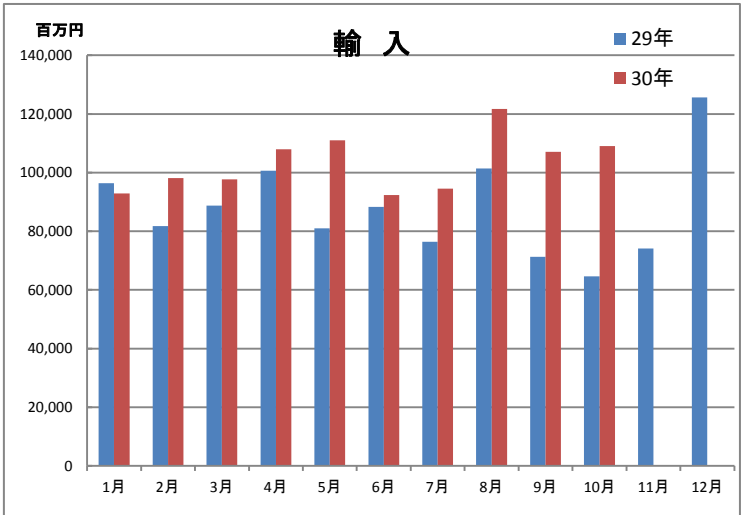
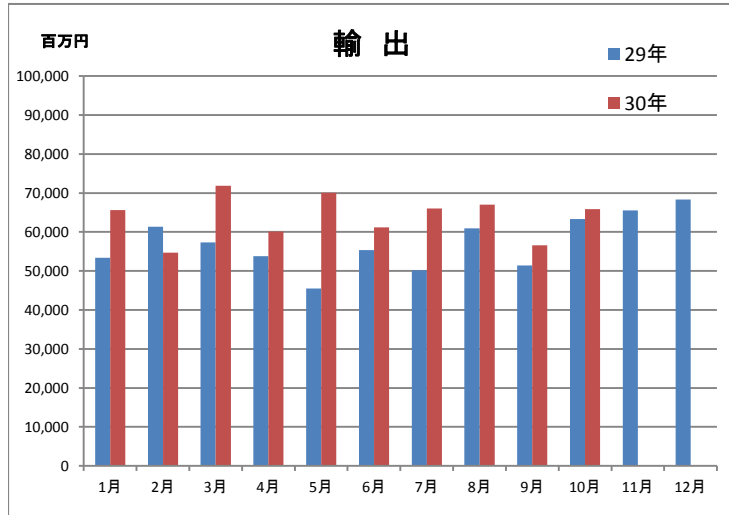
区 分	輸 出				輸 入				差引額	
	価 額	前年同月比			価 額	前年同月比			出・入超	価 額
大 分(大 分)	65,859	104.0	↑	8か月連続のプラス	109,018	168.5	↑	9か月連続のプラス	入超	43,160
佐 伯(佐 伯)	4,197	46.2倍	↑	3か月連続のプラス	305	110.4	↑	4か月連続のプラス	出超	3,892
津久見(津久見)	3,877	4.1倍	↑	2か月ぶりのプラス	339	44.5	↓	2か月ぶりのマイナス	出超	3,538
大分空港(大分空港)	-	-			-	全減	↓	9か月ぶりのマイナス	-	-
大 分 県	73,933	114.9	↑	2か月ぶりのプラス	109,662	166.8	↑	9か月連続のプラス	入超	35,729

※ 港別貿易額は、各官署の通関額合計による。また、大分の実績には佐賀関港・中津港の実績を含む。

※ 大分県の価額欄は、各港毎の千円単位までの合計数値から四捨五入で算出。

※ 輸出は確報値、輸入は9桁速報値による。

大分港貿易額の推移



この内容を引用されるときは、大分税関支署発表によると付記してください。

本資料に関する問合せ先：大分税関支署 管理課
シロイ クロイ

★ 密輸ダイヤル(24時間受付)【0120-461-961】

TEL 050-3539-3300

FAX 097-524-0067

ホームページアドレス <http://www.customs.go.jp/moji/>
税関チャンネル <http://www.youtube.com/user/mof>